

2021年6月18日 第3357回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 岡田 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<ゲスト紹介> *関東化成工業株式会社 執行役員総務部長 山田 哲也 様

<会長報告> *第1グループ三役会 報告

*第12回理事役員会 報告

*ガバナー事務所より

・2021-22年度地区ロータリー財団セミナー及び
補助金管理セミナーのご案内について

7月17日(土) 受付開始 12:30 R財団セミナー 13:00

補助金管理セミナー 15:30~

於：アイクロス湘南6階「会議室」

・第1回インターアクト委員会開催のご案内について

7月10日(土) 13:00~14:00 委員会

14:00~ アクターズミーティング

・第1回ローターアクト委員会開催のご案内について

7月18日(日) 13:00~14:30 於：第一相澤ビル8階「会議室」

<幹事報告> *ガバナー月信 NO. 12

*新会員セミナー開催 於：甲羅本店 18:00~

<新会員入会式> ・三浦 寿夫 会員

<出席報告> *出席委員会 小林(-)委員長より6月18日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
121名	113名	82名(3名)	31名	3名	75.22%

<ニコニコ報告>

・中村(田) 会員 誕生月祝いとして

・三 役 年度報告をされる会員の皆様よろしくお願ひいたします。1年間お世話様でした。

・田村、長谷川、馬場、田中(夔)、畑、大竹、中村(備)、加藤(備)、兼城、猿丸、渡邊、
鷺尾、小平、波島、江沢、長尾、小山(夔)、田邊、勝間、徳永、高橋(備)、
中村(田)、前田、前川、小林(-)、根岸、瀬戸、齋藤(備)、齋藤(夔) 各会員

クラブ協議会、年度報告よろしくお願ひいたします。1年間お疲れ様でした。

・三 役 三浦寿夫会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフをお楽しみください。

・大石、梁井、江口、福西、角井、木村、植田、八木、上林、
鈴木(夔)、鈴木(備)、飯塚、松本(夔)、杵渕、澤田、高橋(備)、中村(田)、齋藤(夔) 各会員

三浦寿夫会員、入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

・三浦 会員 よろしくお願ひいたします。

・椿、立石、大野(夔)、田中(夔)、福西、川出、岡田(夔)、浅葉、齋藤(夔) 各会員

今年度新会員の皆様、情報セミナー出席よろしくお願ひいたします。久しぶりの甲羅本店ですね。

・加藤(備)、小山(夔)、齋藤(夔)、勝見、田邊 各会員

明日RC釣り同好会、アジ釣りに行ってきます。大漁、大漁みんな満足！！

・物井 会員 次週例会にながすDVDにまじめな表情が足りません。本日発表の委員長さん、マスクを取ってシリアスな演技をお願いします。

1. 会長

岡田 英 城

2020-21三役・会計・SAA・理事6名23委員長23委員会、そして歴代会長の皆様にはカウンセラーを引き受けていただき、当初112名の会員で活動スタートしました。コロナ禍の影響で44回中31回の例会開催で終了する予定です。心がけてきましたことは、コロナの影響で活動が停滞することがないように、また今後の横須賀ロータリークラブを考えて今回のような非常事態がおきても皆様と繋がってられるようにと考え、出欠席システム導入、HPの充実、公式LINEの設置、ZOOMによる例会出席などDX化を進め、情報の共有化をはかれるようにシステム構築をしました。横須賀ロータリークラブは会員と会員皆様の会費から成り立っている組織ですので会員の皆様が少しでも横須賀ロータリークラブに対して満足度を高めていただけるよう努めてまいりました。横須賀ロータリークラブだからこそ聞くことができる卓話、奉仕活動、またオープントップバスによる三浦半島「LOOK FOR TREASURE」などを企画し、新会員による個性的な卓話などもあり、その活動内容をメディア・HP・SNS等を使って毎週公開してきました。様々な反応があり中期ビジョンなども策定した中、クラブの公共イメージアップの今後の鍵となると思います。また、私は入会以来、個性あふれ多様性満載な先輩・後輩などの会員に例会でお会いすることで「よし頑張るかー、自分はまだまだだなー」などと思え、自分的にはそれが一番の満足度向上につながっています。残念なことは横須賀ロータリークラブの親睦の要であるテーブルミーティングがなかなか開催されなかったことです。私は年間32回の参加する権利があるのですが4回しか参加することが出来ず、副会長・幹事のときなどは1年間で3年分くらいのお酒を飲んだ記憶があるのですが、まったく健康体でキレキレの身体で終わろうとしています。また親睦委員長を異例ですがSAAまでやった八木委員長にお願いして親睦強化を図ろうと考えていましたが、飲食を伴う親睦・会員の歓送迎会などもできず、またJTB馬場会員にオリンピックチケット259枚を用意していただき多くの会員での観戦、30名近くで参加予定であったハワイ国際大会なども中止となりました。しかし今年のRIテーマであります「機会の扉を開く」という観点から考えると、機会はプラスしかないと思いがちですが、逆にコロナ禍のようなマイナスの機会においてこそ機会を作りだし対応することでクラブが変化し、時代の変化に対応した組織になっていくのだと思います。また、70年間活動をしてこられた理由のひとつではないかと思えます。各委員会の委員長の皆様から、報告があると思えますがコロナ感染が拡大して行く中、例会の開催が不安定な中、いままでにない対応いただき停滞させることなく活動を進めていただき大変ありがとうございました。最後になりますが、来週70周年記念例会及び最終例会となり、終了していませんが皆様方には本当に1年間お世話になりました。ありがとうございます。

2. 会計

杵 渕 哲 也

今年度総収入は29,371,281円、総支出は21,495,521円と収支差額は7,875,760円となっております、年度末に向けて最終例会など、まだ250万円程度の支出が見込まれております。支出面で例会費、IM、地区協議会などの登録料、クラブ管理運営費などが予算に対して大きく下回っている状況にあります。前年度繰越金3,707,781円に対し、今年度は次年度繰越金が約550万円程度になる見込みです。

3. SAA

齋 藤 眞 且

今年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス蔓延により一部休会を余儀なくされた年度でしたがさすが岡田年度、会議所の1階多目的ホール、メルキュールホテル、横須賀平安閣を使用し例会で密にならないよう工夫を凝らし最小限の休会で乗り切りました。それに伴い、その度の会場の設営、器材の引っ越し、撤収に追われた1年でした。ただ、SAAの仕事の領域を会長はじめ副会長、幹事、親睦活動委員長それに垣谷さんらが総出で協力してくださり乗り越えることができました。心よりお礼申し上げます。ニコニコでは皆様を読みやすいよう大きめの活字で内容を提示させていただきました。その分のご理解がいただけたせいか例会回数が少なかった割には例年と変わらない皆様からの多くのお気持ちをいただくことができました。この場をお借りしお礼申し上げます。滑舌の悪い私のニコニコ報告を暖かく見守ってくださった会員の皆様、私をサポートしてくださった副SAAの小山陽生会員ありがとうございました。

4. 副会長兼クラブ管理運営委員会担当

八 卷 敏 博

本年度、クラブ管理運営委員会としましても各委員会の活動がままならず、副会長・クラブ管理委員長として各委員会への支援が十分だったとは言えないと思います。そうした中で Rotary 旗・ゴング等の運搬も含め例会の設置準備と片付けが、結果として本年度のメインジョブになってしまいました。クラブのお役に立ったか甚だ疑問ではありますが、年度報告といたします。

5. 会報委員長

小 山 美 智 恵

この1年、読みやすく、簡潔に、そして、その場の臨場感が伝わる週報の作成を心がけて参りました。今年度は会報委員会に多くの新会員の方が入れ、また休会によるスケジュールの変更が余技なくされて参りましたが、LINE 等の活用や親睦活動委員会との連携による皆様のご協力のもと、また、三宅さんや編集の門馬さんのお力添えのおかげでなんとか乗り切ることができました。本当にありがとうございました。来年度は今年度も副委員長として活躍されてきた畑さんに引き継ぎますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

6. 雑誌副委員長

加 藤 淳

濱田委員長とともに、チームワークよく「ロータリーの友」を会員の皆様へお知らせできたこと、本当に勉強になりました。私にとっても「ロータリーの友」を通じ、世界のロータリアンがこのコロナ禍の厳しい環境下でも「奉仕の精神」で様々な工夫を凝らした取り組みを知ることができ、ロータリアンとして少し成長することができました。特に新会員の皆様には、できるだけ「ロータリーの友」を身近な存在にしていただければと思いました。一年間ありがとうございました。

7. 出席委員長

小 林 一 博

本年度はコロナ禍の中、緊急事態宣言等の発令によって例会が開催出来ないことが多くありました。このような状況下で会員の皆様にいかんにして例会に参加、出席して頂くことが出来るかが一番の目標でしたが、結果的には年間を通じて高い出席率を達成することが出来ました。7月/80.66%、8月/81.19%、9月/76.04%、10月/79.99%、11月/82.77%、12月/81.22%、3月/80.19%、4月/77.23%、5月/73.11%。5月までの平均出席率は79.27%でした。6月も79%をキープしているので、最終的には79%台になると思います。この高い出席率を達成できた要因の一つは、ZOOMを活用して、どこからでも例会に参加することが可能になったことだと思います。ブルーダイヤモンドの垣谷様にご協力いただき、ZOOM出席者が快適に例会参加できるように環境を整えていただきました。今年度ZOOM委員長をお務めいただいた小平副委員長には心から感謝いたします。もう一つはメール&ファックスシステムを活用して、三役をはじめ事務局三宅様、八木親睦委員長の多大なるご協力のもと、毎週出席確認を続けた結果だと思います。またこの確認を行うことでお弁当のロスを極力無くすることが出来たことは大きな成果の一つだと思います。また、今年度の100%出席会員が20名おります（うちZOOM出席併用4名）。これは過去最高の人数ではないかと思えます。最終例会で20名が表彰される姿を今からとても楽しみにしております。最後になりますが、会員の皆様のおかげで高い出席率を達成できたこと心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

8. 親睦活動委員長

八 木 達 也

今年度は新会員19名という新しい出会いもあり、大変積極的にご協力を頂いた最高のメンバーに恵まれた年度でした。残念で仕方がないのは、その年の親睦委員会の色が濃く出る2枚看板行事の納涼家族会、年忘れ家族例会が中止になってしまったことです。今年度のメンバーでは是非やりたかったなど返す返す残念でなりません。そんな中、岡田会長の英断で11月6日にオープントップバスでのペニンシュラツアーを開催出来たことは唯一の今年度の親睦行事となりました。何事もなく無事開催出来たのは小沢会員、馬場会員をはじめ関係者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。また会員の皆様には例会の運営に多大なご協力いただきました。本当に1年間ありがとうございました。

9. プログラム委員長

鈴 木 豊 司

例会は会員相互が親睦を深め、奉仕に道を開く為の活動の拠点です。本年度は会長・幹事方のお力添えの下、会員の皆様が楽しいと思える例会プログラム編成に努めてまいりました。しかしながらこの様な折、已む無き例会の中断、また急な予定変更が多々発生いたしました。新会員の皆様はじめ卓話者の皆様の多大なご協力を賜り、振り返れば多岐に渡るゲストもお招きできて、結果として内容豊かな例会を開催できました事に安堵している次第です。一年間ありがとうございました。

10. 広報委員長

山田 晴史

効果的な広報や公共イメージの向上を目指すことでロータリーを一般の人々に紹介し、ロータリーへの理解と認知度を高める活動に努めます。などとお題目を並べしっかり活動することを誓って岡田年度をスタートしたのですが、なんとといってもこのコロナ騒動でイベント活動もできず活躍する場面もない中だったのですが、横須賀ロータリークラブ70周年ということで、タウンニュースへの半面広告、プログラム委員会の絶妙な卓話者選抜による新聞記事、オープントップバスによる三浦半島で宝物を探そうイベント、市と医療事業者へのエナジードリンク寄贈、横須賀市によこすか海軍カレー700個寄贈等々、効果的な広報や公共イメージアップに努められたと思いますが、これらの結果はすべて岡田会長のご尽力によるもので、私はいっさいお手伝いできませんでした。私が今年度残したものとえば、少々体調を崩し、せつかく10kg痩せたのに、13kg太って結局3kgプラスになったということです。以上、広報・公共イメージ委員会の報告を終わります。

11. IT委員長

梁井 康市

今年度は、会場入口での手続きの信頼性向上、データの保存、集計を容易とするため、出席登録にQRコードを導入させて頂き、大きな混乱なく、何とか軌道に乗せることができました。皆様には、突然のお願いに御理解頂いた上、臨機応変にご対応頂きましたこと、感謝申し上げます。今後もしもご面倒をお掛けいたしますがよろしくお祈りいたします。IT委員としましては、その他、HP、SNSを用いて情報発信につとめてまいりました。この分野につきましても、情報管理、セキュリティをしっかりと対応した上で、公共イメージアップのためにも情報発信を継続してまいります。次の年度につきましても、皆様からのご意見、ご要望を反映させながら、改善を図ってまいります。引き続き、みなさまの御理解とご協力をお願い申し上げます。

12. ロータリー情報委員長

谷 繁信

入会希望の方、入会予定の方、新入会員の方、入会して日の浅い方へのレクチャー、ガイダンスそして意見交換の場を設ける予定でしたが、コロナ禍の為、また私の力不足、怠慢もあり殆ど実行できませんでした。見かねた岡田会長のご尽力により11月20日に青少年奉仕をテーマに米山奨学生蔡尚佑さんとローターアクトの竹岡会長にスピーチをしていただく情報集会を開催しました。また本日6月18日午後6時より新入会員セミナーを甲羅にて開催いたします。

13. 職業分類委員長

勝見 慎一

ロータリークラブでは、自己の職業を通じて地域社会に貢献していこうという考えがございます。その為、自クラブに多様な職業の会員を確保することがとても重要です。今年度は、皆様のご協力のおかげで19名の新会員を迎えることができ、純増9名で新たな職業分類が5業種増えることができました。これにより益々多様性を持った職業奉仕を実践出来るのではないかと考えております。この場をお借りして、ご推薦ご紹介をいただきました会員の皆様には感謝を申し上げご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

14. 会員選考委員長

澤田 菊江

本年度、会員皆様のご協力により19名（うち2名女性）の推薦をいただきました。1年間、慎重に審査・選考をさせていただき20名方々ともに人格、資質を十分に備え例会に出席し協調性のある方と判断し、理事会に報告いたしました。新会員の方々の益々のご活躍を期待いたしております。また、会員皆様のご協力に感謝申し上げ年度の報告とさせていただきます。

15. 会員増強・会員維持委員長

曾 我 宗 光

今年度は、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中にも関わらず、会長・幹事をはじめ多くの皆様のご協力をいただき、19名の新会員を迎え入れることができました。今年度最終会員数は、退会者数が10名でしたので、実質9名増の121名となります。この一年間、新会員の方々と親睦、交流機会が非常に少ない状況にありましたので、来年度は感染拡大が収束し、そのような機会が以前のように増えますことを願っております。一年間、大変お世話になりました。

16. 職業奉仕委員長

大 竹 孝 憲

今年度の職業奉仕活動について、報告します。

今年度も、横須賀学院中3の生徒さんを対象に職業奉仕を行いました。第一段として昨年12月16日に学校からのご指名である八木会員による中3全員に講演をして頂きました。真剣に聞き入っている生徒さんに感心しました。第二段は、コロナ禍なので従来の「受け入れ方式」ではなく、「出前方式」として会員企業の方々に学校へ出向いてもらい「職業体験講座」という名前で希望する生徒さんに講義をして頂きました。当初、1月下旬の3日間で22会員、26講座を予定していましたが、「まさか」が起こってしまい、3月9、10日の2日間の午後に16の会員企業のご協力をもらい無事に開催出来ました。後日、受講された生徒さんからも心温まるメッセージを頂き、やれて良かったと素直に喜べました。今回、新たな形で実施出来た事は、ロータリーの一つの財産になったと思います。会員企業の皆様、二瓶会員のご協力に厚くお礼申し上げます。報告とさせていただきます。

17. 社会奉仕委員長

兼 城 毅

今年度も寄付のお願いに、多くの会員にご協力いただきました。豪雨による九州被害地への義援金、東京五輪ウィンドサーフィン選手の須長由季さんへの活動支援への協力、こどもの夢サポートセンターへの支援、戦艦陸奥主砲“41糎徹甲弾”移設に向けた寄付金のお願いをさせて頂きました。多くの会員にご理解、ご協力を戴きましたこと御礼申し上げます。またコロナ感染症の受入れをして戴いている、横須賀市保健所、うわまち病院、横須賀市民病院、横須賀共済病院の医療従事者・関係者へ感謝、応援の気持ちを込めて、エナジードリンク4,890本を寄付、生活困窮者支援として横須賀市に、よこすか海軍カレー700個を寄贈させて頂きました。コロナ禍において足元で起こる大きな社会、生活変化にクラブとして寄り添った活動であったと思います。岡田会長はじめ三役、山下担当役員、会員皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。

18. 国際奉仕委員長

瀬 戸 映 男

国際奉仕委員会は、今年度は、奉仕の理念のもとに諸外国の文化・習慣・国民性の理解を深め、ロータリアンとして親善と平和を推進することを目標といたしましたが、昨今の新型コロナウイルスの影響で外国との往来などが制限され、具体的な成果には至りませんでした。大変申し訳ございませんでした。

19. 青少年奉仕委員長

中 村 正

昨年1月から始まったCOVID-19による大規模な感染が世界中に広まり未曾有の社会的困難に陥りました。このような状況下でも何とか青少年交換留学生に対する支援を行う所存でしたが、残念ながら海外からの留学生の受け入れは不可能となり青少年奉仕委員会としての活動が頓挫してしまいました。中身の無い報告となりましたが、ワクチン接種が行き渡り世界中で自由な活動が再開されることを祈って委員長報告を終わらせていただきます。

20. ローターアクト委員長

角 井 駿 輔

まずは、会員の皆様エコバッグを多数お買い求めいただきましたこと、この場をお借りして深く御礼申し上げます。作成したエコバッグは500個ですが、すでに残り約150個となっております。購入希望の方がいらっしゃいましたら、私までお気軽にお声掛けいただければと思います。今年度のローターアクトクラブは、昨年来続いている新型コロナウイルスの影響があり、なかなか対面での例会が実施できないこともありましたが、ZOOMを利用するなどして、一度も休会することなく予定通りの回数分の例会を行うことができました。また、昨年10月20日の情報集会へのRACの参加、5月7日のRC、RAC、IAC

の合同例会もあり、ロータリーとローターアクトの関わりの機会が多かったこともローターアクトにとって有意義なものになったと思います。他方で、年度中に4名が退会してしまいましたが、新たに5名の入会者を迎えることになり、年度開始時からすると構成人員がすっかり入れ替わりました。エコバッグ以外にもブルキナファソ支援プロジェクトなど、新たな企画も多数始めることができました。こうして、次年度の委員長には、新生横須賀ローターアクトクラブを引き継げる状況が整いましたが、なんと次年度も引き続き私がローターアクト委員長を務めることになりました。さらに、地区ローターアクト委員会の副委員長も務めますので、新会員の皆様におかれましては「ローターアクト関係の話のときに前に出てくる人」と覚えていただけますと幸いです。一年間ありがとうございました。

21. インターアクト委員長

鈴木 之 一

今年度は対面での事業がほぼ開催できない一年でした。10月にインターアクト、ローターアクトの合同委員会が三浦学苑高等学校にて「ブルキナファソ」を共通事項として、その活動方法についてディスカッションが行われました。そして5月には例会においてこれまでの活動報告がされました。地区においては第1回インター・ローターアクト委員会が8月に対面で実施されましたが、その後はWebを活用してのハイブリットでの開催となりました。アクターズミーティングもWebでの開催となりましたが、各校クラブの特徴あふれる紹介ビデオを作成しミーティング時に活用して楽しい会となりました。その他、台湾での交流事業や一泊研修は中止となりましたが、三年生を送る会がWebにて行われ一つの区切りとなりました。年次計画に則った事業が遂行できませんでしたが、ボランティアマインドを養うには対面的な活動が必要だと改めて感じる一年でした。ご協力を頂きました皆様、一年間ありがとうございました。

22. ロータリー財団委員長

三 堀 孝 夫

ロータリー財団委員会の地区目標である寄付関係について下記の通り報告致します。

1. 財団年次寄付目標（会員一人当たり200ドル以上）

今年度財団寄付総額が、大口寄付を含め現在45,225ドル送金しました。1月1日の会員数は117名ですので一人当たり386ドルとなり目標達成。

2. ポリオ撲滅のための寄付（会員一人当たり40ドル以上）

総額4,680ドルを送金し、一人当たり40ドルで目標達成。

3. 恒久基金（1クラブ1,000ドル以上）

会員2名 2,000ドルを送金で目標達成。

皆さまのご協力感謝いたします。

23. 米山奨学委員長

福 西 美 子

公益社団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する目的でクラブの会員の寄付金を財源として奨学金を支給し支援する制度で会員皆様にご協力を頂いております。本年度は奨学生の蔡尚佑さんでした。ロータリー会員と触れ合う機会がなかなか持てませんでしたが、歯科大を卒業し国家試験に合格致しまして、3月中旬台湾に帰りました。寄付金の目標は一人当たり¥20,000のところ今年度は一人¥33,427で目標は達成いたしました。担当役員、カウンセラー、会員各位のご協力のお陰と深く感謝申し上げます。4月からは朴侍彦さんです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

24. 記念史委員長

物 井 宏 介

記念すべきクラブ70周年を何かの形で残したいという会長の意向で当委員会は始まりました。ロータリーの魅力は会員皆様一人ひとりの魅力ですというコンセプトのもと、100名を超える会員の動画に取り組みました。撮影にあたっては松本監督、渡辺助監督に大変お世話になりました。シャイな会長が松本監督の熱い演技指導でだんだんノリノリになってくるなど楽しい思い出がいっぱいの1年でした。出来上がりは次年度になりますが是非楽しみにしててください。皆さまのご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

25. 中期ビジョン策定委員長

植 田 威

6月4日の例会で横須賀ロータリークラブの中期ビジョン案を説明させていただきました。「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる。」最終例会に向けて、横須賀ロータリークラブとしての機関決定の程、宜しくお願ひいたします。地域社会や世界が変化する中で、私たちは、その変化が真実であるか、公平であるか見極めてまいります。超我で、大切にしたいことを語り合い、好意と友情の礎のもとに、多くの人々と共に五大奉仕に取り組みます。みんなのためになる豊かな魅力ある社会を育てます。以上、中期ビジョン案の機関決定に向けてよろしくお願ひいたします。

26. VTT委員長

藤村 昌一

当クラブとフィリピンセブRCとの共同で取り組んでいるVTTプロジェクトですが、昨年度支出した72,000ドルの補助金に関して、今年度に入り、中間報告書を作成し、ロータリー財団に提出しておりましたが、昨年の暮れ、財団本部から、この中間報告に対する審査が無事終了し、報告書が承認されたという連絡が入りました。これは、総額163,000ドル予算の残り、91,000ドルを引き続き利用できることとなります。2年目になる今年度は、当初、セブから医療チームを招き日本で研修をする予定でしたが、ご承知のとおり、現状、VTTプロジェクトはコロナの影響で活動を休止しております。次年度、プロジェクトが再開の折には、来日するフィリピンのVTTメンバーを盛大に歓迎したいと考えておりますので、皆さんのご支援ご協力をお願い申し上げます。

27. ZOOM委員長

小平 一穂

ZOOM委員会はコロナ感染症の感染拡大に伴い、例会にリモートで参加したいという要望を受け急遽設立された委員会です。1年間、例会でのZOOM運営を担い、リモート参加でもリアル参加と同じ体験ができるよう努力してきましたが、至らぬ点も多かったと思います。今後もニューノーマルの一形態としてZOOM参加のあり方や運営に関して更なる改善が必要な点もあるかと思ひます。このあたりは後任の委員長に期待していきたく思ひます。1年間、ご協力ありがとうございました。

28. 幹事

鈴木 孝博

歴史と伝統のある「横須賀ロータリークラブ」の幹事を入会して15年あまり出席率の良くなかった私に務まるのかと不安の中でのスタートとなりましたが、リーダーシップ溢れる、岡田会長の掲げる方針に従い、コロナ禍での一年間において会場設営・移動・休会など様々な判断を強いられた中、クラブ運営をして参りました。無駄を無くし持続可能な運営にしていこうと、メールでの例会出欠確認を徹底しお弁当のフードロス削減、QRコードでの出席把握、ZOOMでの例会出席、ニコニコボックスのキャッシュレス化など、時代に即したDX化への足掛かりを各委員長のご協力のもと、築いて参りました。また、様々な団体への寄付を通じて地域での社会奉仕活動、そしてタウンニュースや新聞などのメディア掲載も多くさせて頂き、当クラブの認知度向上にも努めて参りました。振り返ると、国際大会のオンライン開催、親睦例会、テーブルミーティングの未開催など多くの会員相互の親睦を深める機会が出来なく、心残りは多くありますが、無事に任期を終える事が出来、安堵しております。ここに至るまで、理事役員の皆様、各委員長の皆様、事務局の三宅さん、そして多くの会員の皆様に幹事として至らない数多くの点を、ロータリーの寛容の精神をもって様々な場面にて助けて頂いた事、感謝申し上げます。私自身にとっても、多くの新たな経験をさせて頂き学びの1年間でした。本当に有難うございました。



<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 川出 真弘